

浦佐認定こども園

子育て支援センター

ひだまり

ご予約・お問い合わせ
南魚沼市浦佐5278-9
☎025-777-5560

2023年2月11号

一面の雪にこども園の子ども達は大喜びで雪遊びを楽しんでいます。今年は大雪との話もありますが、どうでしょうか？屋根の下や木の周りなど危険な場所に気をつけて、雪の美しさや冷たい感触、溶けていく不思議さ、雪山に登ったり、滑ったりと雪の魅力を子ども達にいっぱい伝えてあげたいですね。ひだまりでは引き続き感染対策をしながら、お部屋を暖かくして、お待ちしております。是非遊びにいらしてくださいね！



土田英順さんチャリティーコンサート



今月のピックアップ情報



豆まき 3日(金)AM

新聞紙の豆で『鬼は外福は内！』と鬼退治をします。1月の制作でマス作りをした方は豆を入れて楽しみましょう。こども園行事の鬼も登場予定です！



わらべうたで遊ぼう！

7日(火)、20日(月)10時半～11時

こども園では、子ども達の大好きなわらべ歌があちらこちらから聞こえてきます。「わらべうたってなあに？」という方も気楽にお越しください。お子さんの年齢に合わせて、色々なわらべ歌遊びがありますよ。

乳幼児の発育講座

8日(水)10時半～11時

講師 萌気会公認心理師 鈴木美智子先生

毎月一回の人気講座です。今月のテーマは『食事と食育(手づかみ食べ、月齢に応じた食器の選択)』です。質問も受け付けていますよ。

3月のカレンダーを作ろう！

15日(水)16日(木)AM、PM

ひだまり恒例カレンダー作り。お子さんだけでなく、お家の方も季節のテーマの制作に夢中に！お家に手作りカレンダーがあると、ほっこり温かい雰囲気になりますよ！

保護者の方の通院や介護、冠婚葬祭、リフレッシュなど家庭保育が困難な時に！

一時保育『わかかさ』 (ひだまりと同じお部屋で保育しています。)

○対象者：南魚沼市在住の生後6か月～5歳児

○時間：8時30分～16時30分(日曜、祝日、年末年始を除く)土曜は相談に応じます。

○利用料：一日1,800円・半日1,150円(延長の場合は、200円/30分 別途)

詳細は、浦佐認定こども園まで(025-777-5560)



ひだまり利用のご案内（新型コロナウイルス感染防止対策により、ご協力お願いします。）

南魚沼市に住所のある未就園児とその保護者が対象になります。発熱、咳等体調不良のある方はご遠慮ください。親子共、利用前に検温してきてください。大人はマスク着用。入室時と退室時に手洗いか、手指消毒をお願いします。午前中、ご利用人数が多くなった場合は人数制限させていただくことがあります。（制限をするときは玄関外に看板を出します。）ご了承ください。午後（13:00～16:00）はご利用者が少なくお勧め致します。（身体測定と制作は午後も行います。）なお、感染状況によって、予告なく内容の変更や休館になる場合があります。ご了承ください。



2月の予定



日	月	火	水	木	金	土	
22日(水)はこども園 半日入園の為、 ひだまりは休園です。			1 身体測定 看護師発育相談 成長記録簿作り	2 身体測定 成長記録簿作り	3 豆まき 10時から新聞紙豆作り ドキドキ鬼退治!	4 お休み	
5 お休み	6 でこぼこ マットで 遊ぼう!	7 わらべうたで 遊ぼう! 10時半～	8 乳幼児の 発育講座 10時半～11時	9 可愛い お雛様飾りを 作ろう!	10 可愛い お雛様飾りを 作ろう!	11 建国 記念日 お休み	
12 お休み	13 自由遊び カプラ	14 雪遊びをしよう! 荒天時:布積み木 遊び	15 3月の カレンダーを 作ろう!	16 3月の カレンダーを 作ろう!	17 親子で 絵本を楽しもう! おすすめ絵本の紹介	18 お休み	
19 お休み	20 わらべうたで 遊ぼう! 10時半～	21 2月の お誕生会 11時～	22 こども園 半日入園の為 お休み	23 お休み 天皇誕生日	24 みかさんと 英語で遊ぼう! 10時半～11時	25 お休み	
26 お休み	27 トンネルで 遊ぼう!	28 小麦粉粘土を 作って遊ぼう!	ひだまり開放時間はAM10時～12時。PM1時～4時です。 ホール使用、昼食の喫食はお休みしています。 プログラムは自由参加です。 制作、身体測定は午前、午後行っています。			 ひだまり情報	

1月21日子育て講演会「こども・メディア・絵本」(於:浦佐認定こども園)

齋藤惇夫先生より

(児童文学者・作家
幼稚園園長)



お子さんに毎日絵本を読んでください。
10歳までは読んでもらうことを
本を読むと言います。

なぜ?秘密は裏面へ

子どもにとって絵本を読むってどういうこと？なぜ10歳までは読んであげるの？

絵本や物語で子どもたちは実際には体験できないことも疑似体験して補っていきます。(お話の世界の竜と戦ったり、行ったことのない外国の文化に触れたり、今ではない時代に行ったり…)だから絵本は大切なのです。また、子どもたちは大人が想像する以上に物語の世界に入り込み、主人公になり切って物語を味わっています。時には物語の中で怖い場面にも遭遇しても、お父さん、お母さん、おばあちゃん、おじいちゃんに読んでもらうことでその存在に安心して自己同一化し、物語を楽しめるのです。だから10歳までは物語に付添人を必要とします。読んでくださるおうちの方の心から飛び出して行って、読んでくださるおうちの方の心に戻ってくる経験を沢山することでその後、自立していけます。字が読めるようになったら、『自分で読む。』ではないのです。字を読めるようになることと、本を読む(お話の世界を味わえるほど文章を理解できるようになる)のとは全く違います。

10歳ころになると…第二次反抗期が始まり、おうちの方に読んでもらうより自分で読みたいと思いはじめます。海外では「UNDER10(10歳以下向け)とOVER10(10歳以上向け)と本に明記されています。

また、フィンランドでは子どもたちは10歳まで毎日15分は本を読んでもらっています。父親からも15分読んでもらっています。北欧の子たちは成績が良いのは絵本が関係しています。

メディアの影響って？ 子どもたちは映像の世界が現実世界のようになります。話を聞くのが難しくなり、絶えず動き回ったり、集中して話を聞けなくなったり、攻撃的になったりします。メディアの影響でメディアのヒーローなどになりきっている子は、遊びが豊かに変化していきません。科学的にも動く映像を通して入っていったものは、後頭葉(本能をつかさどる脳、動物がおなかですいたら相手を食ってしまうのと同じ)に入り、そこが発達してしまう。考える、一緒に平和を生きる、生きる喜びを感じるなどをつかさどる前頭葉は発達しないとわかっています。むしろ壊してしまいます。日本ほど子どもに対するメディアに無防備な国はありません。北欧などではスマホなど進んでいるが、子どもへの悪影響にはなっていないです。子どもをメディアから守ってください。

絵本好きな子どもに！(当日資料より) 子どもが本好きになるかどうかは、絵本の中で味わった楽しみの量によります。もともと絵本が嫌いな子どもなどいません。嫌いになったのは、読んでくれる人がいなかったか、テレビばかり見せられていたか、あまりに文章にも文章も絵も物語もひどい絵本やワークブックなど勉強に役に立つように見えるもののみ与えられていたか、そんな理由しか考えられません。絵本の中で存分に遊ぶことができなかったのです。子どもが嬉しくて楽しくなってしまう絵本を毎日読んでやってください。

斎藤惇夫先生のご紹介 長岡出身で福音館書店にて長年子どもたちの絵本作りに携われて編集長をされていた方です。『冒険者たち ガンバと15匹の仲間』『グリックの冒険』『河童のユウタ』などの児童文学の作家でもあり、現在は幼稚園の園長もされています。浦佐認定こども園では長年にわたり、園内絵本研修をご指導いただいています。こども園の絵本100選(卒園までに是非読んで欲しい絵本100冊)の選書にもご指導をいただきました。